

虹のかけはし

〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 番地

TEL: 0748-62-0234(代) FAX: 0748-63-0588

<http://www.kohka-hp.or.jp/>



新任のごあいさつ

公立甲賀病院副院長・脳神経外科部長 初田直樹

2022年4月1日付けで赴任いたしました初田直樹です。15年ぶりに再び公立甲賀病院に勤務させていただくこととなりました。また、副院長の重責を拝命致しまして、身の引き締まる思いしております。

公立甲賀病院での私の責務は、一つには脳卒中救急において自己完結型にすることです。数年間、脳卒中救急が当院で十分になされてきていなかったことを踏まえ、今後は開頭術、血管内治療において治療を行っていきたいと考えております。

2018年12月に可決されました脳卒中法案にて、PSC(一次脳卒中センター)を全国的に整備して、脳卒中患者の迅速かつ適切な治療を行うことの下地が法的に決められました。当院では脳神経内科の先生によってPSCを維持していただいております。しかし、本来は脳卒中医療は人的、時間的制約の中で行われており、転院などで時間をかけることはできるだけ回避したい事項です。脳卒中法案の最大の治療目標は脳塞栓症ですが、脳塞栓症の機械的血栓回収術を当院でも行える体制をとっています。また、脳出血の血種除去、くも膜下出血に対しては開頭によるクリッピング術も血管内治療によるコイル塞栓術も行っています。

超急性期の治療だけではなく、頸動脈狭窄病変に対しましては頸動脈内膜剥離術と頸動脈ステント術を使い分けて行っております。食事の多様化に伴い頸動脈狭窄症は年々増加傾向にあります。超急性期の脳卒中の約5%を占める統計もあります。頸動脈治療はプラークの位置、長さ、性質、石灰化の有無などでどちらの治療を行うかを決めております。多くの方はステントを選択されますが、必要な方には内膜剥離術をお勧めしております。下図のように、2か月ほどするとほとんど創部は目立ちません。

その他に脳腫瘍や水頭症、外傷、顔面けいれんや三叉神経痛などの減荷など脳外科一般をおこなっております。また、脊椎疾患に関しましては同時に赴任した伊藤医師が対応でき、脳神経外科の領域をカバーできるようにしております。今後は10月から増員も予定しており、ますます脳神経外科を充実させていきたいと考えております。最後になりましたが、甲賀市の地域医療に貢献できますように奮迅努力致す所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



両側の内膜剥離術を施行した患者です。

左は手術4日後、右は2か月後です。



第70回健康講座 Web 配信しました 「お口の健康を保ちましょう」

歯科口腔外科部長 蟬庭秀也医師よりオーラルフレイル対策の口腔体操についてなど、講演をさせていただきました。

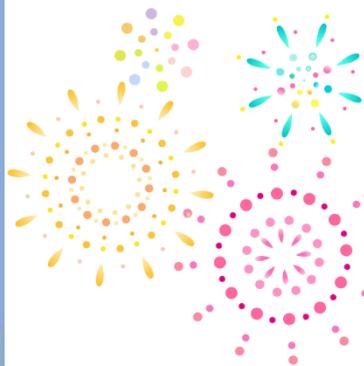
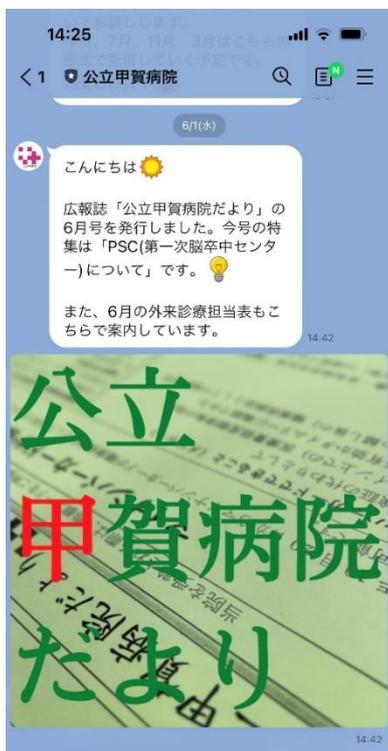
(飲み込むパワーをつける体操、噛むパワーをつける体操などの紹介がありました)

公開期限：3/30～4/28 YouTube 動画で配信

133回再生していただきました。ご視聴ありがとうございました。

次回の健康講座について

現在調整中です、詳細が決まりましたらお知らせさせていただきます。



地域医療連携部よりお知らせ

地域医療連携部長の渋谷医師が4月末に退職され、5月より副院長兼循環器内科部長の山本孝医師が就任されました。変わらず、地域と病院のかけはしとなるよう地域医療連携部スタッフが協力して努めてまいります。今後もよろしくお願いいたします。

令和4年度版【入退院支援のための相談窓口等一覧】(甲賀圏域)を公立甲賀病院のホームページに掲載しております。ご活用ください。



病院公式 LINE がスタートしました。みなさんへ直接、公立甲賀病院の情報を配信しております。お持ちのスマートフォンなどに直接お届けします。登録は上のQRコードから！ぜひ「友だち追加」を(^ ^) /

編集後記

夏至が過ぎ、この季節になると必ず思い出す光景があります。

10年前になりますが、甲南町某所にて蛍の群れと遭遇しました。とても幻想的で蛍の光で心が和まされました。以来見ていないのですが、これから暑い日々がやってきます。夏バテ対策して乗り切りましょう。(K)